

課コード	002311	作成日	平成20年5月2日
所属名	土木管理課	作成者	木村晶子

政策名(上位目的)
適正な道路・河川管理の推進
目の名称
道路橋りよう管理費

計画コード	分野	部	課	施策・事務事業	
	款	項	目	事項	
科目コード	36	06	10	16	06
(旧科目コード)	36	06	01		

事業名		戦略性	
浜松・道の日フェスタ事業			
事業概要			
目的	(対象、意図、求められる結果)	開始年度	終了予定年度
市民の皆様へ広く道の持っている機能・役割を理解していただくと同時に、道路をいたわる市民協働としての道路愛護運動の浸透を図り、道路を美しく安全に利用する機運を育てることを目的とする。		平成 18 年	
活動内容			
<p>浜松・道の日フェスタ</p> <p>国土交通省は、毎年8月を「道路ふれあい月間」とし、10日を「道の日」として定めている。平成17年度までは、10日の「道の日」に、国、県及び市の主催により、浜松駅前での「道の日PRグッズ」の配布、国道1号清掃活動及び道路パトロールを実施した。平成18年度からは、これに加え、より市民に身近な形で「道」に親しんでもらい、道路の正しい利用や道路愛護精神の啓発を図る目的で、市独自のイベントを開催している。</p>			
事業の性格分類		実施根拠(法令、条例等)	
義務的事業	任意的事業	道路法	
事業運営方法		新市建設計画事業	ワークショップ提案事業
直営		一部委託	全部委託
		補助等	

		H17年度決算	H18年度決算	H19年度最終予算	H20年度当初予算	H21年度計画額	H22年度計画額	前期4年間計
事業費(千円)		0	1,500	2,170	2,570			
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	市債							
	受益者負担分(使用料等)							
	その他							
	一般財源	0	1,500	2,170	2,570			
人件費		0	2,400	2,400	2,400			
内訳	人工		0	0	0			
	単価		8,000	8,000	8,000			
計	年間経費	0	3,900	4,570	4,970			
	受益者負担率	#DIV/0!	0	0	0			

性質別内訳		人件費	扶助費	公債費	物件費	維持補修	補助費等	積立金	投資及び出資金	貸付金	繰出金	投資的経費	公営企業
平成18	2,400				1,400		100						
19	2,400				1,970		200						
20	2,400				2,370		200						

定量評価							
指標1		単位	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
	目標	%					
	実績	%					
年間経費(事業費・人件費の合計)		千円	3,900	4,570	4,970		
単位当たり経費		千円/単位	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
単位当たり経費変動率		%		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

指標2							
		単位	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
	目標	%					
	実績	%					
年間経費(事業費・人件費の合計)		千円	3,900	4,570	4,970		
単位当たり経費		千円/単位	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
単位当たり経費変動率		%		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

定性評価			
過年度の実施内容			
平成19年度 8月11日(土)10:00~15:00 フォルテガーデン・ギャラリーモール 内容 フォルテガーデン:市長挨拶、道路美化活動高校への感謝状の贈呈、パネル展示、プレゼントコーナー ギャラリーモール:浜松市消防音楽隊演奏、和太鼓披露、交通安全教室・パトカー展示、大道芸、物産販売 来場者数:2,300人			
事前評価	必要性	A 高い B ↑ C ↓ D 低い	(分析・理由)  道路の意義・重要性に対する市民の関心と道路愛護精神の高揚につながると考えている。
	行政関与の妥当性	A 高い B ↑ C ↓ D 低い	(分析・理由)  一部業務をイベント会社に委託しているが、土木部職員のアイデア、手づくり事業として実施している。
事後評価	有効性	A 非常に有効 B やや有効 C あまり有効でない D 有効でない	(分析・理由)  市民来場目標2,000人に対して、2,300人の来場者があった。市民の皆様、道の機能や役割を理解していただき、道路愛護の浸透が図られたと考える。また、道に対する市民の関心の高さを改めて認識する貴重な機会にもなった。
	効率性	A 単位当たり経費が前年比マイナス B 単位当たり経費が前年とほぼ同じ C 単位当たり経費が前年比プラス D 評価できない	(分析・理由)  前年度と比較して、経費の増加は少ない。
今後の事業展開			
規模			(分析・理由)
現状	拡大・充実 現状のまま継続 縮小 廃止		内容を見直し、改善を図っていくことは必要と考えるが、事業自体は今後も継続して実施していきたい。
具体的な改善内容・事業の方向性等			
このような企画を継続して実施することで、道路愛護や道路を美しく安全に利用する心の育みの効果が期待できることから、今後も継続して実施していきたい。 (問題意識) 8月10日の「道の日」は、大正9年に日本で初めて道路整備計画が実施された日で、昭和61年に制定された。この日にあわせて市民に日ごろ地域で使用する道を大切に、理解を深めてもらうことを目的に全国の自治体においても実施されており、それなりの成果をあげている。平成18年度からは各種イベント中心の大規模のものとなり、費用、スタッフとも拡大している。 (想定結果) 市の実施が適当だが改善を要するもの			
(備考) 事業に対する市民・市民活動団体・事業者・議会からの指摘			



市内4校への  
感謝状の授与

ギャラリーモールの  
賑わい！



市職員による  
道に関する  
クイズ大会